

第1回モノづくり・創業部会

(平成19年9月3日(月) 13時30分～ 市役所10階第3会議室)

事務局より、帯広市中小企業振興基本条例の制定から、この「モノづくり・創業部会」開催に至る経過を説明。

第1回、第2回の帯広市中小企業振興協議会の開催内容及び配付した資料(本日)について説明。

今後の協議項目(論点)として、「ものづくり・創業」「産学官連携・産業クラスター形成」「ブランド形成」を柱として進めて論議することを説明。

○委員14名の各自の自己紹介。

○自由討論

自由討論 要旨

○

地域が中央の植民地、漁場のようになっておりそれをストップするにはどうしたらいいか。地域のパイは大きくなっていかないの、帯広にこだわらず十勝という大きさのものを考えないとダメ。

より広い視野を持って考えていければいい。ある会議の中で、ふるさと納税の話があって、地方で育って中央に行ってもふるさとにあるものを還元していく仕組みだが、今回税金でなく寄付という形に置き換わっていくようだ。十勝の農業製品、農産物を作って写真を貼って安全ですと売り出しているが、だれでもいい人ばかりではない。きちんと保証する、認証機関が必要。安心安全な農産物を検査するという。

他のマチの事例を引っ張り出してもそのマチに合わないの新しい発想でやっていかなければならない価値をつくる時代が来る。

○

認証制度を持つのは必要だ。ただ十勝という単位で地域づくりやろうとすると広すぎる。もっと狭くできないか。平原通りも広すぎたり、街路樹も大きすぎたりする。

夕張メロンはどれだけ有名になっても地元でお金になっていない。農産物の加工品のブランドだけでは地域経済活性化につながらない。北海道、十勝の中で価値を上げるためにどうしたらいいか。畜大の頭脳だけを使おうとしていたが先生たちが持つネットワーク、専門性について個人としての先生をどんどん引き出すことが重要。

東京に対するコンプレックス。「怖くない」という思考がなければいけない。

東京にアンテナショップでなく、本物を作らないといけない。

○

十勝の産業としてサケのふ化は重要。シシャモもたくさん獲れるのに十勝のブランドとして売れていない。なぜそうなのか地元で聞いたことがあるが、サケの加工とシシャモの加工が同時期で重なって手が回らない。せっかく十勝で獲れるものを大切にしていけないといけない。「サケ」というブランドがありながら札幌の豊平川の方がブランドとなっている。

○

移住したいと思っている団塊の世代が十勝に興味を持って、十勝に住んでももらえれば協力会社も潤う。帯広は農業が中心なので建築の方でがんばって地域ブランドになりたい。

○

帯広市の中に墨田区の条例を規範として立ち上げたと思うが、基本的なものの中に全部調査している。どういう人たちがいて、それを考えてあげるか。宝物があってそれを掘り起こすことが求められていると思う。

○

化粧品と薬は儲かる商売。原価がいくらか言えないくらい安くても、買う人が納得して信じて買うので、高くても売れる。北海道の人は素直すぎる価格設定をしている。形にないものをモノにして作ることができないものか。

○

単なる地域間競争では生き残れない。Think globally, Act locally。グローバル化しているが、それに負けない地場の製品を提供する競争力が必要。産業振興ビジョンのマイルストーンを何年先に置くのか。人材と起業家精神で市役所の職員が独立して起業をしたほうがいい。

○

物流の変化、流通の変化をおさえないとミスリードしてしまう。元気になる魅力と十勝

のよさを出してもらおう。よさは何なのか。何があればここに残れるのか。人材育成、資産の問題が見えてくると分かりやすい。

○

創業に関しては市の職員が大量定年を迎えるので、今までの経験を踏まえて創業してもらった方がいいのではないかと考える。

○

論点の中に十勝産業振興センターの活用があるが、十勝産業振興センターだけでなく食品加工技術センターも入れてほしい。

また、十勝には立派な企業が沢山あるが、モノづくりに前向きな考え方を持たない人が多いので、もっと前向きで積極的な企業が欲しい。

○

新しい産業に進出する時は企業の内容が悪くなってからでは遅い。健康な状態の時に最終利益の1、2%を違う分野に目を向けてチャレンジしていただきたい。

産業30年のサイクルでいい時、悪い時がある。全く携わっていないところではなく、第一歩は関連する事業から考えた方がいい。

○

モノを高く売ることができる仕組みができないかと考えている。十勝には、それが必要であると思う。

討論が盛んになってきたところですが、時間となりました。

次回からは、協議項目の「モノづくりと創業」について論議いたします。

次回は、9月25日（火）に開催いたします。

以上